



2019年11月12日

各位

会社名 株式会社ユビキタス AI コーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 聡
 (コード 3858、東証 JASDAQ)
 問合せ先
 役職・氏名 執行役員管理本部長 辰馬 正崇
 電話 03 - 5908 - 3451

2020年3月期第2四半期累計期間 業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月14日付「2019年3月期 決算短信(連結)」において公表した2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)第2四半期累計期間業績予想値を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	1,045	△131	△131	△162	△15円49銭
今回修正(B)	1,084	△40	△37	△54	△5円17銭
増減額(B-A)	39	90	93	107	
増減率	3.8%	-	-	-	
(ご参考)前期第2四 半期実績(2019年3月 期第2四半期)	1,128	13	17	△33	△3円19銭

2. 業績予想修正の理由

<第2四半期累計期間の業績予想>

第2四半期累計期間の売上高は、ソフトウェアディストリビューション事業、ソフトウェアサービス事業において予想をやや下回るものの、ソフトウェアプロダクト事業において高速起動製品のロイヤルティ売上を中心に予想を上回ることから、前回予想に対して微増する見込みであります。

損益面につきましては、売上高に占めるロイヤルティ売上の比率が高まること、および、外注費等の費用が予想を下回ることから、営業利益以下について前回予想より改善される見込みであります。

<連結通期の業績予想>

通期の売上高は、ソフトウェアプロダクト事業において、下期のコネクティビティ&セキュリティ関連を中心に予想を下回ることから、通期の売上高は、前回予想と同程度の見込みであります。

損益面につきましては、下期のソフトウェアプロダクト事業の売上高が前回予想を下回ること、および、研究開発や事業基盤の強化に関わる人員の採用による人件費の増加などから、営業利益以下については、前回予想と同程度の見込みであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。